

○施設一体型小中一貫校（全市募集）

H24開校 やたなか小中一貫校（矢田小学校と矢田南中学校）

⇒矢田南中学校の敷地に設置

H26開校 小中一貫校 むくのき学園（啓発小学校と中島中学校）

⇒啓発小学校の敷地に設置

H27開校 いまみや小中一貫校

（新今宮小学校【今宮小、弘治小、萩ノ茶屋小を統合】と今宮中学校）

⇒今宮中学校の敷地に新今宮小学校を設置、3小学校は廃校

H29開校 日本橋小中一貫校

（浪速小学校【日本橋小、日東小、恵美小を統合】と日本橋中学校）

⇒日本橋中学校の敷地等に浪速小学校を設置、3小学校は廃校

H30開校 咲洲みなみ小中一貫校

（南港みなみ小【南港緑小、南港渚小を統合】と南港南中）

⇒南港南中学校の敷地に南港みなみ小学校を設置、2小学校は廃校

○施設隣接型小中一貫校

H28開校 小中一貫 須賀の森学園

（西淡路小【西淡路小、淡路小を統合】と淡路中）

⇒西淡路小学校を淡路小学校の敷地に設置、淡路小学校は廃校

小学校と中学校は道路1本隔てて隣接

大阪市立の小中一貫校における教育

○施設一体型小中一貫校

小中一貫したよりよい教育環境

- ◇小中学校が同一敷地内にある
 - ⇒子どもたちや教職員の日常的な交流が容易になる
- ◇小中学校の職員室が一つになる
 - ⇒継続的なきめ細やかな支援
 - 教職員の情報交換、意見交換が容易になる
- ◇特色ある教育内容
 - ・ 9年間を見通した1年生からの英語教育
 - ・ 充実した教科指導
 - 小中教員の協働した指導、小学校高学年からの一部教科担任制
 - ・ 伸ばすチャレンジ精神
 - 小学生からの部活動参加、小中学生の活発な交流活動

○施設隣接型小中一貫校

子どもや教員の移動や打合せにかかる負担が軽減

- ◇小学校と中学校が道路1本隔てて隣接（道路に面した門を新設）
 - ・ 週1回の6年生の中学校への登校（中学校教員等との協働した授業）
 - ・ 部活動体験の活性化
 - ・ 合唱コンクールの合同実施（小学校5・6年生と中学生）

田島中学校区 小中一貫校の教育活動イメージ

【メリットの活用】

○小中一貫校の施設の利点を活用する

一部教科担任制や小中教員のTT等の導入

中学校教員が小学校高学年の授業へ入り込み、児童のつまずきに対応する等教科指導の充実 ⇒教員の指導力の向上にもつながる

中1ギャップの解消

小1から違いを知り違いを認め互いの良さを見つけることでより良い人間関係を早期に育むことができる

○小中一貫教育で教育効果を高める

小学校との指導方針の共有・明確化、学級経営の質の向上

9年間で育てる子ども像や教育内容を明らかにし共有することで次代を担う子どもを育てる特長ある学校づくりを可能にする



【デメリットの克服】

○学校運用面での工夫が必要

既存施設の有効活用

新校舎で運動場を東西に分割し、小学生の活動場所を確保するなどの工夫

○小学校高学年のリーダーシップの育成

異学年交流や節目行事の工夫

指導区分（4・3・2制）に基づく節目行事、ペア学年等の縦割り活動・学習の検討
新たな枠組みの考え方 ⇒義務教育9年間を一体ととらえる